

事業事前評価表

1. 対象事業名															
タイ王国 第2バンコク国際空港建設事業(VI) (貸付契約調印日：2004年4月9日、承諾金額：44,852百万円) 借入人：新バンコク国際空港公社 (NBIA: New Bangkok International Airport Co., Ltd.)															
2. 本行が支援することの必要性・妥当性															
本事業は、増加する航空旅客・貨物需要への対応が困難になりつつある現バンコク国際空港に代わる新たな新空港を建設し、増加する国内外の航空旅客・貨物需要に速やかに対処し、以ってタイ王国の経済発展に資するものであり、タイ王国の空港セクターの最優先プロジェクトとして位置付けられている。本行の海外経済協力業務実施方針の地域・国別方針においても、「環境改善を含めた都市機能の整備」を重点分野の一つとして位置付けているところ、増大する航空需要に対応する新たな空港を建設することはバンコクの都市機能の整備に資するものである。また、日本政府のタイ王国に対する援助の重点分野においても、バンコク一極集中及び産業・経済の急速な発展に伴い不足している経済インフラ整備の支援が挙げられており、本事業は同援助方針に沿ったものである。															
3. 事業の目的等															
(1) 本事業は、バンコクの東方約30kmに位置するサムットプラカン県ノンゲーハオに、第一期事業として、年間取扱能力がそれぞれ4,500万人、212万トンの旅客及び貨物ターミナル並びに東西2本の滑走路を主要施設とする国際空港を建設することにより、増大しつつある航空需要への対応を図り、以って同国の経済発展に寄与することを目的とする。 (2) 需要予測															
バンコク地区の旅客数、貨物量実績、予測															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%;">2002 (実績)</th> <th style="width: 15%;">2005</th> <th style="width: 15%;">2010</th> <th style="width: 15%;">2015</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅客数合計 (千人)</td> <td style="text-align: center;">32,183</td> <td style="text-align: center;">38,533</td> <td style="text-align: center;">53,626</td> <td style="text-align: center;">72,295</td> </tr> <tr> <td>貨物量合計 (千ト)</td> <td style="text-align: center;">1,034</td> <td style="text-align: center;">1,217</td> <td style="text-align: center;">1,697</td> <td style="text-align: center;">2,253</td> </tr> </tbody> </table>		2002 (実績)	2005	2010	2015	旅客数合計 (千人)	32,183	38,533	53,626	72,295	貨物量合計 (千ト)	1,034	1,217	1,697	2,253
	2002 (実績)	2005	2010	2015											
旅客数合計 (千人)	32,183	38,533	53,626	72,295											
貨物量合計 (千ト)	1,034	1,217	1,697	2,253											
出典：NBIA 作成(2003年)の資料に基づく。															
4. 事業の内容															
(1) 対象地域名															

タイ王国サムットプラカン県ノンゲーハオ

(2) 事業概要

バンコク都心部から東方約 30km に位置するノンゲーハオ(サムットプラカン県)に、第 2 バンコク国際空港を建設する。全体事業概要は以下の通り。

新空港用地面積：3,200ha

滑走路： 3,700m(西側)、4,000m(東側)

旅客ターミナル施設：年間 4,500 万人対応

貨物ターミナル施設：年間 212 万トに対応

(3) 総事業費

総事業費 317,243 百万円(うち円借款対象額 197,476 百万円)

(4) スケジュール

2005 年 9 月開港予定

(5) 実施体制

本事業の実施機関は新バンコク国際空港公社(NBIA: New Bangkok International Airport Co., Ltd.)である。NBIA は、親会社のタイ空港公社(AOT: Airports of Thailand Public Limited Company)が株式の 100%を所有。新空港の運営・管理は AOT が担当し、NBIA は AOT に吸収合併される予定である。

(6) 環境及び社会面の配慮

本事業には「環境配慮のための OECF ガイドライン(初版)」が適用される。本事業の当初事業スコープに関する環境影響調査(EIA)は、NBIA が実施し 2002 年 5 月に国家環境委員会(NEB:National Environmental Board)の最終承認を取得済である。また、NBIA は事業スコープ変更に伴う EIA の改訂を実施中であり、天然資源環境政策計画局(ONEP: Office of Natural Resources and Environmental Policy and Planning)のレビューを経た後、NEB の最終承認を取得予定である。なお、ONEP は、今般のスコープ変更による重大な負の環境影響は予測されず、生じる環境影響についても空港供用中に限定されることから、NBIA に対しては変更後スコープに基づく建設工事の続行を許可している。

供用中、空港周辺の大気中の一酸化炭素、窒素酸化物、炭化水素は、関連する環境基準を下回ると見込まれており、深刻な影響はないものと考えられる。

騒音影響について、供用中に影響を受ける住民に対し、補償基本計画が策定されており、NBIA は今後コンサルタントを雇用し、住民との協議を通じて、より詳細な補償実施計画を作成予定である。

空港敷地内からの住民移転は完了している。

(7) その他特記事項

特になし。

5 . 成果の目標

(1) 評価指標 (運用・効果指標)

指標名		2002 年(実績)	2008 年 (事業完成後 3 年)
旅客数 (千人)	国際線	23,179	32,126
	国内線	7,305	12,607
	乗り継ぎ	1,699	2,274
貨物取扱量 (千ト)	国際線	906	1,296
	国内線	48	87
	乗り継ぎ	80	105
航空機離発 着回数(回)	国際線	139	155
	国内線	59	85

(2) 内部収益率(IRR)

(ア)財務的内部収益率(FIRR) : 10.5%

費用 : 建設工事費、コンサルティングサービス費、管理費等

便益 : 着陸料、駐機料、空港利用料、コンセッション収入等

プロジェクトライフ : 30 年(2006 年 ~ 2035 年)

(イ)経済的内部収益率(EIRR) : 16.9%

費用 : 建設工事費、コンサルティングサービス費、管理費等

便益 : 旅客増加及び航空機離発着数増加に伴う付加価値増、本事業による雇用増加に伴う付加価値増等

プロジェクトライフ : 30 年(2006 年 ~ 2035 年)

6 . 外部要因リスク

タイ国及び周辺国・地域の経済停滞並びにテロ等治安の悪化等による航空需要の鈍化。

7 . 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

過去の空港整備事業案件では、規模が大きく関係者が多岐に亘るため、個々の意思決定が困難となった事例が存在する。本事業は年間 4,500 万人対応という大型の国際空港建設事業であり、建設段階では工種が多岐に亘り多くの工事パッケージから構成される。そのため、各パッケージの本体工事契約者、施工監理コンサルタント及び全体事業管理コンサルタント間の調整を含む事業全体の進捗管理に留意する。

8 . 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

旅客数(人)

貨物取扱量(千ト)

航空機発着回数(回)

財務的内部収益率(FIRR)

経済的内部収益率(EIRR)

(2)今後の評価のタイミング

事業終了後